

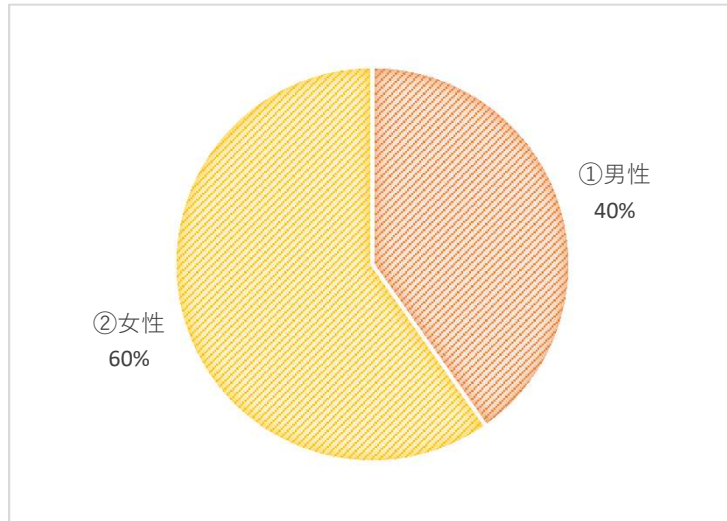
令和5年度 住民公開講座 アンケート集計結果

日時：2023/10/14（土）15：00～16：30 場所：大木町 こぼっとホール

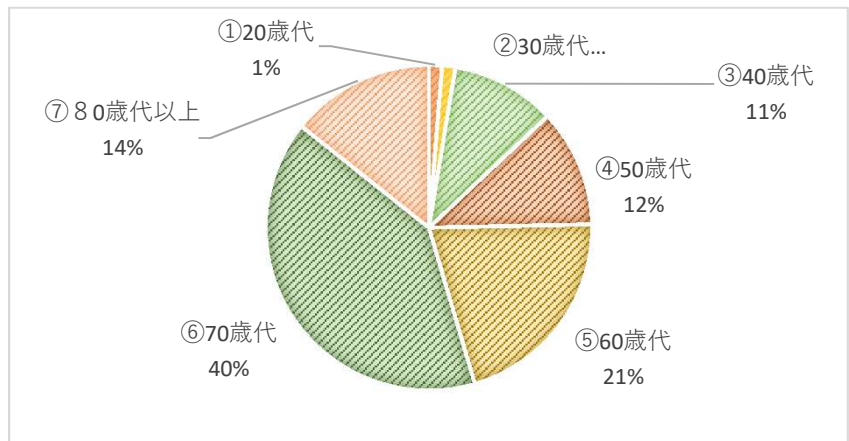
馬場周一郎氏による公開講座

参加人数： 98人 回答者数 77人 回収率 78.6%

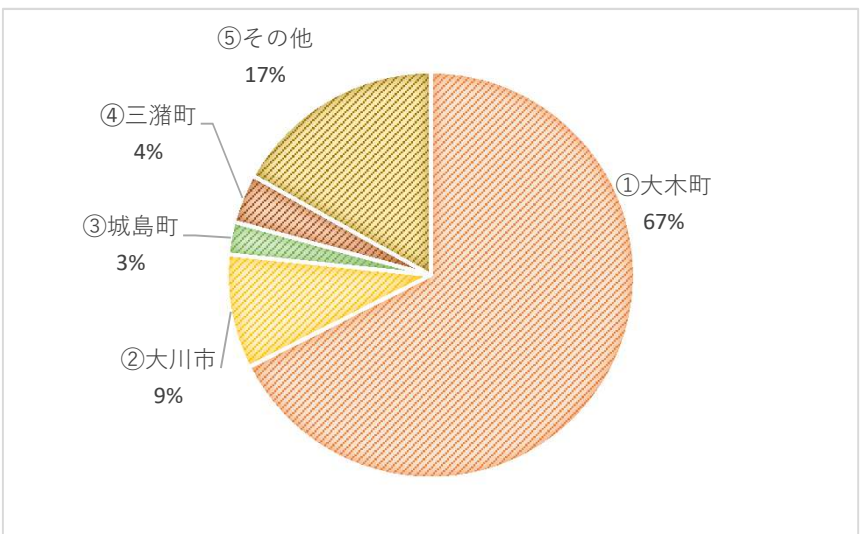
1. 性別	
①男性	31 名
②女性	46 名
③その他	名
計	77 名



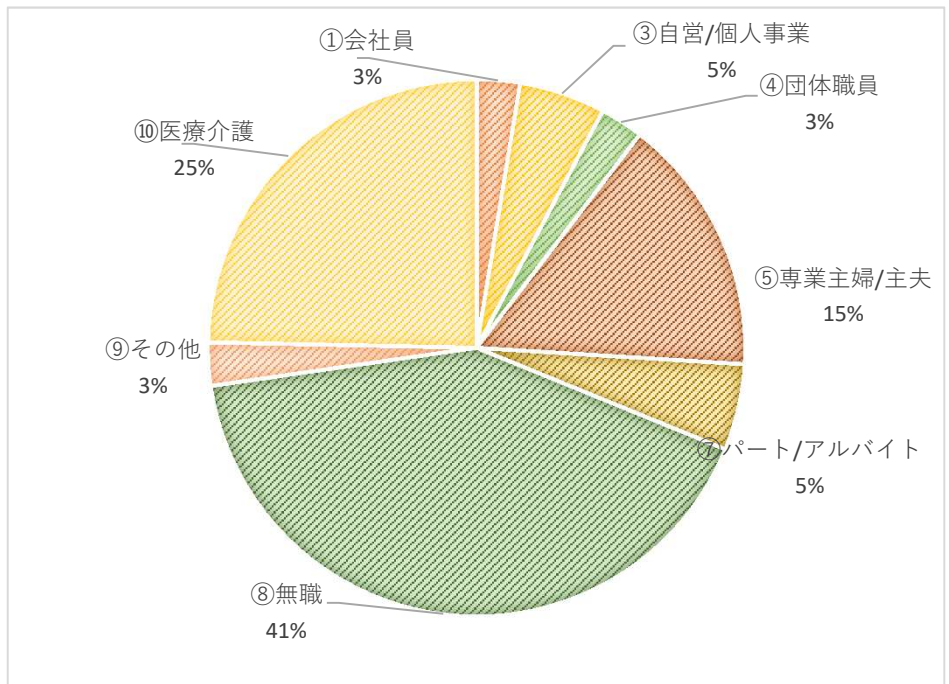
2. 年代	
①20歳代	1 名
②30歳代	1 名
③40歳代	8 名
④50歳代	9 名
⑤60歳代	16 名
⑥70歳代	31 名
⑦80歳代以上	11 名
計	35 名



3. 居住地域	
①大木町	52 名
②大川市	7 名
③城島町	2 名
④三潁町	3 名
⑤その他	13 名
計	77 名

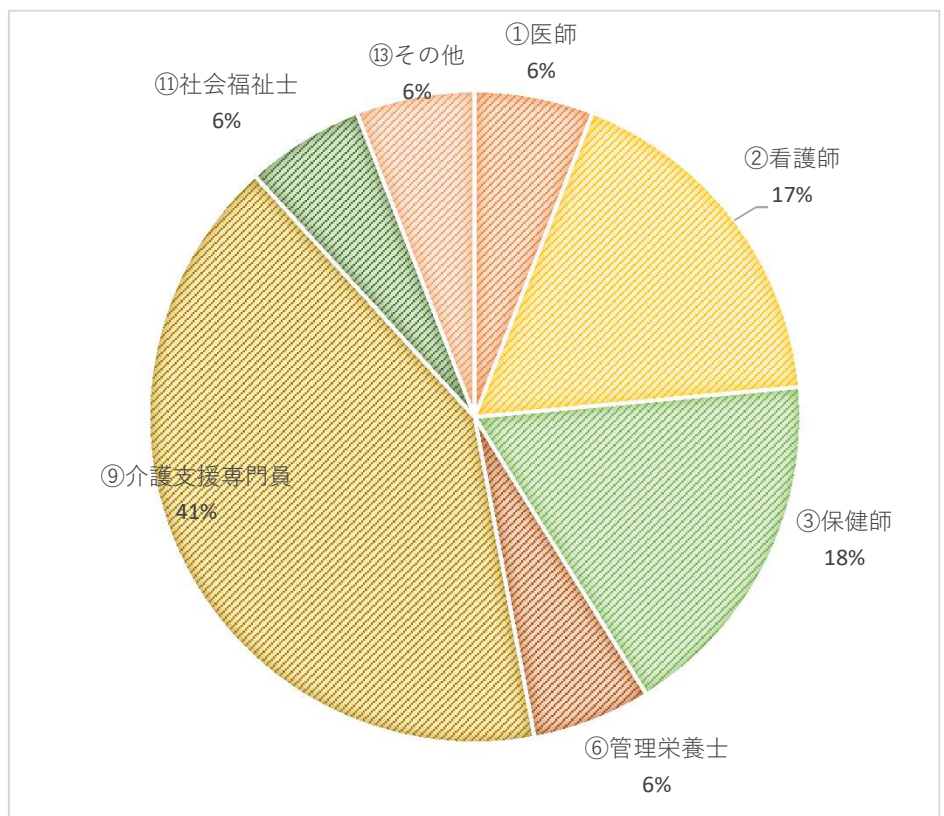


4. 職業	
①会社員	2名
②公務員	名
③自営/個人事業	4名
④団体職員	2名
⑤専業主婦/主夫	12名
⑥学生	名
⑦パート/アルバイト	4名
⑧無職	32名
⑨その他	2名
⑩医療介護	19名
計	20名

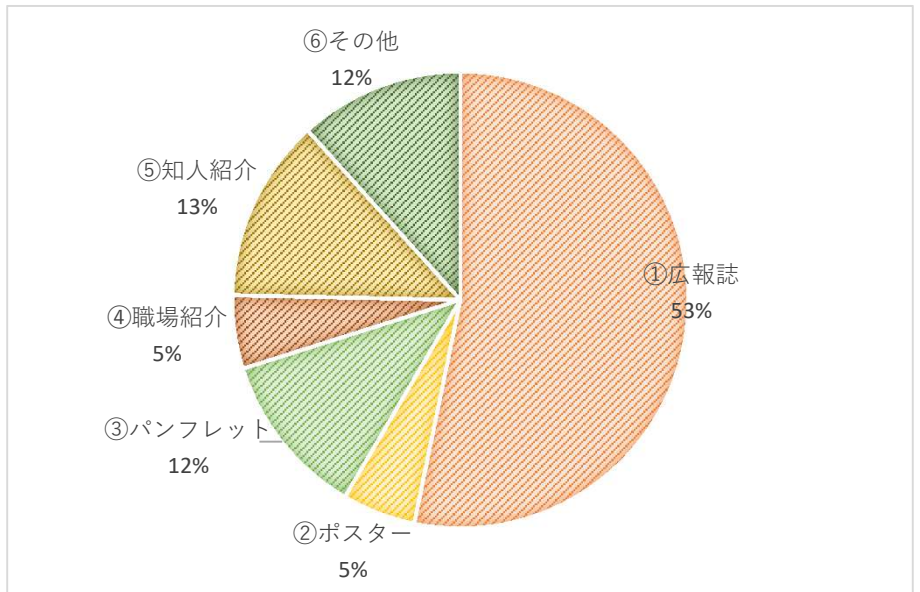


⑩「医療介護職の内訳」

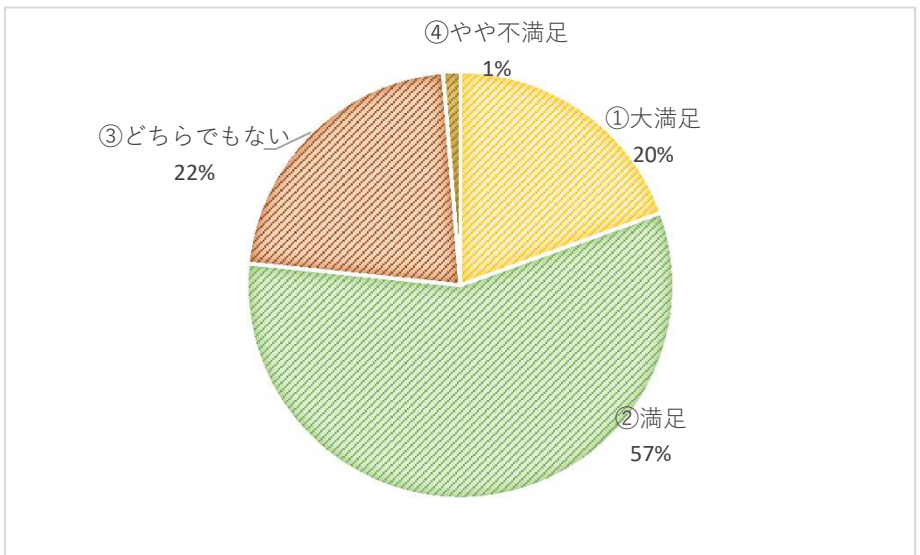
5. 医療介護の内訳	
①医師	1名
②看護師	3名
③保健師	3名
④歯科医師	名
⑤薬剤師	名
⑥管理栄養士	1名
⑦理学療法士	名
⑧作業療法士	2名
⑨介護支援専門員	7名
⑩ソーシャルワーカー	名
⑪社会福祉士	1名
⑫介護福祉士	名
⑬その他	1名
計	19名



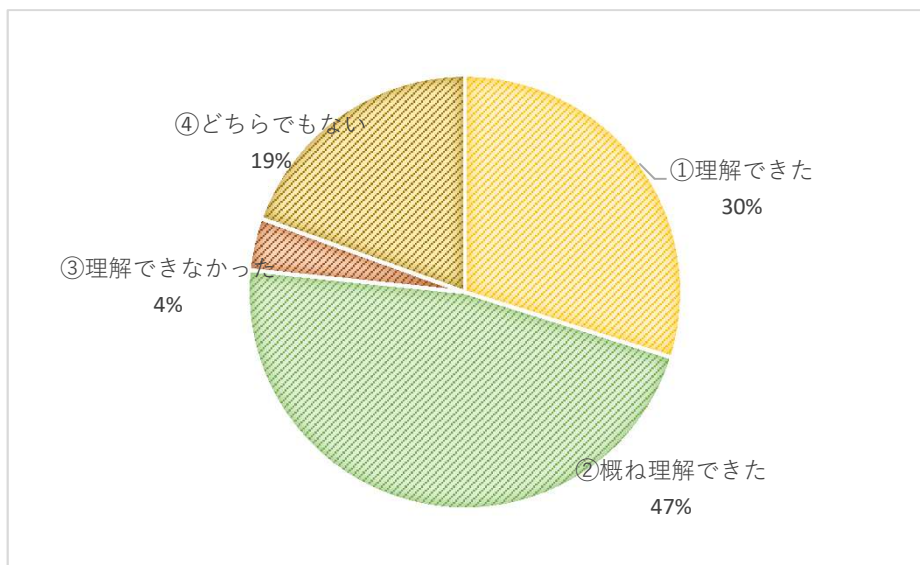
6 承知した切っ掛け	
①広報誌	41 名
②ポスター	4 名
③パンフレット	9 名
④職場紹介	4 名
⑤知人紹介	10 名
⑥その他	9 名
計	77 名



7 満足度	
①大満足	15 名
②満足	44 名
③どちらでもない	17 名
④やや不満足	1 名
⑤不満足	0 名
計	77 名



8 理解度	
①理解できた	23 名
②概ね理解できた	36 名
③理解できなかった	3 名
④どちらでもない	15 名
計	77 名



自由意見

- 「介護を一人で抱え込まない」との話をもっと多く聞きたかった (50代女性看護師)
- 一ノ瀬医師の質問は何となく理解できた (50代女性看護師)
- 母親のことを思いながら聞いた、悔いのない晩年を過ごして欲しい (50代女性保健師)
- 認知症も状況によっては幸せなこと (50代女性保健師)
- ケアをしている側のケアは十分かという言葉が心に残った (60代女性パート)
- 周りが気にかけてサポートできる仕組みができるとよい (60代女性パート)
- 訪問看護等を運営する側として考えることが多かった (40代女性CM)
- 具体的には物足りない (60代男性自営)
- 事件の話に際し、こうすればよかった等の話があればと思う (60代男性自営)
- 介護を受ける側の年齢になった、教科書通りにはいかない (70代女性主婦)
- 事例羅列ではなく、講師の経験からのアドバイスを聞きたかった (70代女性主婦)
- それぞれが追い詰められない介護現場でありたい (40代女性CM)
- 1時間半があつという間でした貴重なお話ありがとうございました (40代女性CM)
- 分かりやすかった、地元出身の講師であり親近感があり、勉強になった (20代女性保健師)
- 具体的な介護対策を聞きたかった (60代女性主婦、60代女性パート)
- モチベーションの保ち方、方法などを聞きたかった (60代女性パート)
- 介護する側される側の感情面をもっと聞きたかった (60代男性無職)
- まだ実感がなく勉強している (70代男性無職)
- 利用者がどう最期を迎えたいのか、その思いに寄り添った支援をしたい (40代女性CM)
- 個人の尊厳を尊重すること、本人の意志を一番に優先される社会になってほしい (50代女性パート)
- 個人だけでなく地域全体でサポートすることが大事 (50代女性パート)
- 認知症の家族の介護は大変、自分も1日1日を大切に生きたい (70代女性無職)
- 奥さまの仕事場の話を知りたい (60代男性パート)
- 質問者のポジティブな介護について伺いたい (70代女性主婦)
- いかに楽しい終焉が大事か考えていきたい (70代男性)
- 老夫婦のこれからを考えている (60代男性無職)
- 発想の転換を図り健康で行きたい (80代男性自営)
- 健康な内から本人の意志を伝えておくべき (50代女性会社員)
- 地域内での関係性はとても大切 (50代女性会社員)
- 「老いの品格」を初めて聞いた、その意味をじっくり考えていく (50代女性会社員 60代男性無職)
- 現状変更のため「税制改革が必要」 (70代男性無職)
- 自分の身の振り方を模索中 (70代男性無職)
- 知識不足による悲劇も多い、先生の講演で実情を知って欲しい (40代男性社会福祉士)
- 支え合う必要を感じた (40代女性CM)
- この先の人生に明るい兆しが見えたような (70代女性無職)
- 健康寿命の大切さを痛感、どうしたら実りのある終焉になるか (70代女性主婦)
- 老々介護の身ですが頑張ります、楽しくやりたいですがもう少し時間画掛かります (80代男性無職)
- 近いうちに訪れる話で介護を悲劇にできないと考えさせられる (60代女性主婦)

昔は家族が介護するのが当たり前、今の介護の在り方を考えさせられた (70代女性無職)
最後を自分の意志で閉じることを願う (60代男性無職)
電車事故の損害賠償など、身近な話で興味深く聞いた (70代女性無職)
家族の在り方、幸せの考え方、命の必要性、健康寿命のあり方等考える機会となった (70代女性無職)
現在の介護の問題を広い視野から語っていただき有意義 (50代男性医師)
介護する方も心豊かにしていくことの大切さを再認識した (80代女性主婦)
介護に関するハラスメントの話が少なかった (70代女性主婦)
「老いの品格」心に残った (60代女性)
悔いのない人生を自分を大切に過ごしたい (70代女性無職)
ケアする人の気持ちに寄り添いながら、係を続けることを心がける (50代男性CM)
認知症をマイナスととらえないということが心に残った (50代男性CM)
介護をポジティブと考えるのは、育ちの中から出てくるだろうが、実際目の当りにした時は
はたしてできるか疑問だ (70代男性無職)
同居の母親(99歳)まだ元気だが介護問題を考えずにはいられない (70代男性個人事業)
介護問題は難しい、自分がその立場になっていないため現状は不明 (70代男性自営)

次回テーマ

- 老いの品格について（50代女性保健師）
- 大きく言うと「日本を憂う物事」（60代男性自営業）
- 心療内科からの講演会（70代女性主婦）
- 人間の尊厳（50代女性パート）
- 医ケアの人への接し方（40代男性会社員）
- 中洲次郎（西日本新聞コラムニスト）の話（60代男性無職）
- 介護職員の教育・指導法、アプローチの仕方（40代男性社会福祉士）
- 外国人の人材活用（40代男性社会福祉士）
- 身近な事例（80代男性無職）
- 財産の管理と国等の関わり方（70代女性無職）
- 家族の居ない1人住まいはどうしたら楽しい人生を送れるか（70代女性無職）

その他意見

- 老健施設が少なく、申し込んでもなしのつぶてで増設の見込みがあるのか知りたい（70代女性無職大川市）
- 法的に安楽死を認める提言をして欲しい（70代男性無職）
- 講演中雑音がして、聞き辛かった（60代男性無職）
- 声が聞こえず聞き取れなかった（70代女性主婦）